別添様式３

介護職員初任者研修カリキュラム

事業者名　Ａ－ｃｕｂｅ株式会社

研修事業の名称　介護職員初任者研修科

１　職務の理解（11 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
（１）多様なサービスの理解	2 時間	介護保険サービス、介護保険外サービス
（２）介護職の仕事内容や働く現場の理解	7 時間	介護職の仕事内容や働く現場の理解サービス提供の一連の流れ
	2 時間	現場見学
合計	11	

２　介護における尊厳の保持・自立支援（12 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
（１）人権と尊厳を支える介護	6 時間	人権の尊厳の保持、ＩＣＦ，ＱＯＬ
		ノーマライゼーション、虐待防止、個人の権利
（２）自立に向けた介護	6 時間	自立支援、個別ケア
		介護予防、地域包括（３章－介護の役割）
合計	12	

３　介護の基本（18 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
（１）介護職の役割、専門性と多職種の連携	6 時間	地域包括的ケア、チームケア介護支援専門員、サービス提供責任者
		介護の専門性、介護に関わる職種
（２）介護職の職業論理	6 時間	介護の論理、プライバシーの保護
（３）介護における安全の確保とリスクマネジメント	4 時間	リスクマネジメント、事故の分析、事故報告
（４）介護職の安全	2 時間	介護職員の健康管理
合計	18	

４　介護・福祉サービスの理解と医療との連携（18 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
（１）介護保険制度	6 時間	ケアマネジメント、介護保険制度の仕組みと基礎的理解
		介護予防、地域包括システム 予防重視システム、地域包括支援センター
（２）医療との連携とリハビリテーション	6 時間	医行為と介護、訪問看護
		リハビリテーションの理念
（３）障害者総合支援制度およびその他制度	6 時間	障害者私立支援制度及びその他の制度
		個人の人権を守る制度 個人情報保護、成年後見人、自立支援法
合計	18	

５　介護におけるコミュニケーション技術（12 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
（１）介護におけるコミュニケーション	6 時間	バーバル・ノンバーバルコミュニケーション、共感的理解
（２）介護におけるチームのコミュニケーション	6 時間	記録におけるコミュニケーション技術、報告、会議
合計	12	

６　老化の理解（９時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
（１）老化に伴うこころとからだの変化と日常	3 時間	老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴
（２）高齢者と健康	3 時間	高齢者の疾病（高血圧、循環器、呼吸、消化器、脳神経他）
	3 時間	高齢者の疾病（こころ、眼、耳、皮膚、感染、特定疾患）
合計	9	

７　認知症の理解(9 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
（１）認知症を取り巻く状況	3 時間	パーソンセンタードケア、認知症ケアの視点 認知ケア理念
（２）医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	3 時間	認知症の原因疾患とその病態、治療、健康管理、せん妄
（３）認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2 時間	認知症の生活障害、行動と心理
（４）家族への支援	1 時間	家族への支援
合計	9	

８　障害の理解（6 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
（１）障害の基礎的理解	3 時間	障害の概念とＩＣＦ、障害福祉の基本理念
（２）障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識	2 時間	身体障害（視覚、聴覚、言語、肢体、内部障害、知的、精神障害）
（３）家族の心理、かかわり支援の理解	1 時間	家族への支援
合計	6	

９　こころとからだのしくみと生活支援技術（132 時間）			
	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
基本知識の学習	（１）介護の基本的な考え方	3 時間	ＩＣＦ視点・法的根拠に基づく介護支援
	（２）介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3 時間	学習と記憶の基礎知識、感情と意欲、心の持ち方、影響
	（３）介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3 時間	人体の基礎知識・骨・関節・筋の知識
		1.5 時間	運動動作に関する基礎知識、ボディメカニクス
		1.5 時間	中枢神経と体性神経知識、自律神経、内部器官、バイタルチェック
生活支援技術の講義・演習（うち技術演習３０時間）	（４）生活と家事	2 時間	家事と生活の理解、生活支援の家事サービス買い物支援
		2 時間	家事支援（調理支援・洗濯・衛生管理支援・清掃支援）
		6 時間	寝具の管理、ベッドメーキング（基本）
			ベッドメーキング（応用、麻痺がある場合）
	（５）快適な住環境整備と介護	2 時間	快適の住環境整備と介護
	（６）整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3 時間	衣類の着脱の介護（基本）
		3 時間	衣類の着脱の介護（身体状況に合わせた応用介護技術）
		1 時間	口腔ケアの支援技術
	（７）移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3 時間	①移動・移乗の基礎知識、ボディメカニクス・体位交換
		2 時間	②様々な移乗・移動に関する用具と方法
		2 時間	車椅子での移動介護
		2 時間	ベッド、車椅子への移乗の介護
		2 時間	階段の杖なし歩行介助、杖歩行介助、視覚障害、社会参加

	（８）食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2 時間	食事に関する基礎知識（栄養学）食事環境の整備、用具・食器の活用
		2 時間	食事介助（基本食事介助）、姿勢保持
		2 時間	身体状況に合わせた食事介護技術
	（９）入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3 時間	入浴・清潔保持の基礎知識、清拭
		1 時間	入浴介助技術、部分浴（手浴・足浴）
		5 時間	洗髪介護技術（ベッド上での洗髪）
	（１０）排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3 時間	排泄とは、身体・生理面での意味、プライバシー、羞恥心・陰部洗浄・ポータブルトイレ介助技術
		6 時間	排泄障害の生活・心理的影響、オムツ交換技術
	（１１）睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3 時間	睡眠に関する知識、睡眠環境と用具、褥瘡予防
	（１２）死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	3 時間	終末期ケア、高齢者の死に至る過程、介護態度、多種間との情報共有
生活支援技術演習	（１３）介護過程の基礎的理解	6 時間	介護課程の目的・意義・展開・介護課程とアプローチ
	（１４）総合生活支援技術演習	18 時間	事例→原因分析→技術検討→演習→評価・課題
【追加】	（１５）生活支援技術演習の学習振り返り	36 時間	事例→原因分析→技術検討→演習→評価・課題
	合計	132	

１０　振り返り（22 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
（１）振り返り	15 時間	研修を通じて学んだ事、またこれからの目標
	6 時間	現場見学
（２）就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1 時間	研修終了後における継続的な研修について
合計	22	
全カリキュラム合計時間	249 時間	

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。
※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること。